

I 第19週の発生動向 (2007/5/7~2007/5/13)

1. 咽頭結膜熱については、上十三保健所管内において第14週から、むつ保健所管内では第16週から、**警報**が継続しています。
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎については、弘前保健所管内において、新たに**警報**が出されました。
3. 水痘については、むつ保健所管内において、新たに**注意報**が出されました。
4. 伝染性紅斑については、むつ保健所管内において、第3週から**警報**が継続しています。
5. インフルエンザについては、先週に引き続き、県内すべての保健所において**警報**、**注意報**が解除となっています。詳細については、[インフルエンザ情報](#)に掲載しています。

II 第19週五類感染症定点把握 注：五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

疾患番号・疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	東地方(再掲)		青森市(再掲)		定点数				
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点		数	定点	数	定点	インフルエンザ(内科+小児科)	小児科	内科	眼科	基幹
(100) インフルエンザ	48	3.43	79	5.27	37	2.64	20	2.86	18	2.00	24	4.00	226	3.48	-192	14	7.00	34	2.83					
(72) RSウイルス感染症															-2									
(73) 咽頭結膜熱	4	0.44	3	0.33	1	0.11			24	4.00	6	1.50	38	0.90	22			4	0.50					
(74) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	17	1.89	40	4.44	3	0.33	4	0.80	7	1.17	5	1.25	76	1.81	42			17	2.13					
(75) 感染性胃腸炎	55	6.11	40	4.44	8	0.89	16	3.20	23	3.83	33	8.25	175	4.17	79	4	4.00	51	6.38					
(76) 水痘	16	1.78	7	0.78	7	0.78			14	2.33	20	5.00	64	1.52	38	2	2.00	14	1.75					
(77) 手足口病			1	0.11									1	0.02	1									
(78) 伝染性紅斑			1	0.11	2	0.22	1	0.20	1	0.17	10	2.50	15	0.36	0									
(79) 突発性発しん	2	0.22	2	0.22	6	0.67			1	0.17	4	1.00	15	0.36	9	1	1.00	1	0.13					
(80) 百日咳															0									
(81) 風しん															0									
(82) ヘルパンギーナ	4	0.44	2	0.22					2	0.33			8	0.19	7			4	0.50					
(83) 麻しん(成人を除く)															0									
(84) 流行性耳下腺炎	18	2.00	3	0.33	11	1.22			3	0.50	6	1.50	41	0.98	16	1	1.00	17	2.13					
(86) 急性出血性結膜炎															0									
(87) 流行性角結膜炎			1	0.33			4	4.00					5	0.45	4									
(95) マイコプラズマ肺炎					2	2.00					3	3.00	5	0.83	1									

■ は警報 ■ は注意報 「空欄」：患者発生数0

III 表II以外の感染症法対象疾患 (19年計には、今回届出された人数を含む)

- (9) 結核(二類全数把握疾患) 八戸保健所管内：1人、青森市保健所管内：1人 (19年計：25人)
 (71) バンコマイシン耐性腸球菌感染症(五類全数把握疾患) 弘前保健所管内：1人 (19年計：1人)

感染症の窓

全国では、4月上旬(第1週)から5月上旬(第18週)まで増加傾向を示していました。県内においては特に、弘前保健所管内において、12人から40人(定点当たり1.33人⇒4.44人)と急増しています。同管内の年齢別発生状況では、8歳以下の年齢層が多い報告数となっています。本疾患は、冬季と**春から初夏**にかけて流行し、感染経路は、保菌者の**唾液や鼻汁**、外傷や火傷など**皮膚の創傷部**から感染することから、今後、集団生活等において注意が必要です。感染予防には、感染者と密接な接触をしない、頻繁なうがい、手洗いの励行等があります。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

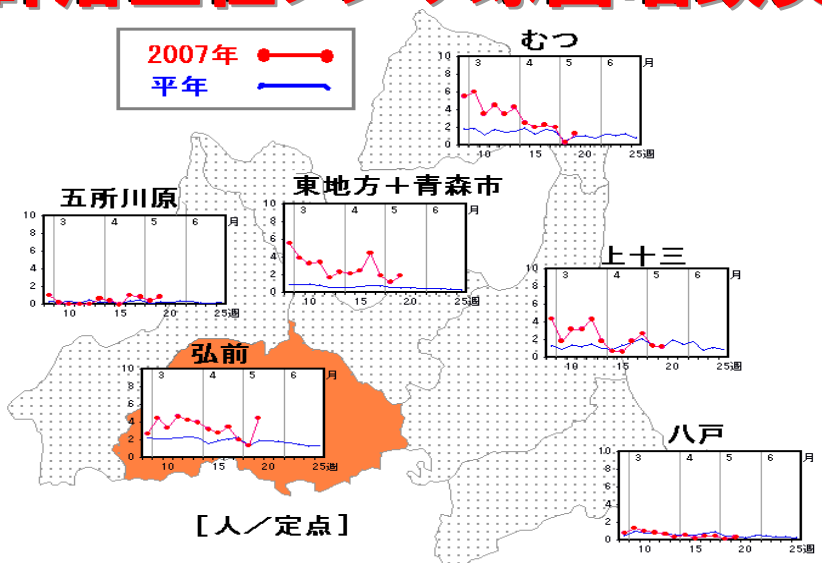


図 青森県における保健所管内別推移 (3月~5月現在まで)